

東京 2020 パラリンピック推薦要件に係るワールドチームカップ参加回数について

過日、東京 2020 パラリンピックへの出場要件が ITF より公表されました。

その内、ワールドチームカップ（以下 WTC）参加回数に関して ITF の Allister Williams 氏（Director of Wheelchair Tennis）に内容の趣旨確認を行い、JWTA として JPC にパラリンピック出場を推薦する指針を確定いたしましたので、以下共有させていただきます。

■ ITF 公表資料（WTC 関連一部抜粋）

v) The player must have fulfilled the minimum participation requirement by being part of the final nominated team and present onsite for the World Team Cup Events (including qualifying and Junior World Team Cup) for a minimum of two (2) years in the four-year Paralympic Cycle provided that one of those years is either 2019 or 2020.

■ JWTA による推薦指針

1. 2017 年～2020 年のパラリンピックサイクルにおいて、2 回以上のチームカップ（予選を含む）参加が要件。（最終登録選手に選考され、実際に大会開催地に赴き参加すること）
2. 参加回数のうち 1 回は、2019 年あるいは 2020 年における参加であること。
3. 参加回数要件を満たさない場合における例外要件として、
 - i. 怪我等によりプレーできない期間があり、参加できなかった場合（診断書による証明が必要）
 - ii. 競技開始時期が短く、大会参加回数を満たせなかった場合
 - iii. 同一国にランキングの高い選手が多数いる為に、選考回数が大会参加回数を満たしていない場合

※ WTC への参加回数が『0～1 回』の場合、上記例外要件の適用に対する妥当性を ITF あるいは IPC によって審査されることとなります。また、別途 IPC へのバイパルタイト（※）申請の方法も考えられますが、IPC への申請者である JPC は、メダル獲得が相当程度期待できる場合にのみ申請を受け付けることとしており、申請者個人の意向だけでなく、申請時点のランキングやこれまでの実績が審査されます。

※バイパルタイトとは

→ランキング等での直接選出枠から外れている選手を対象に、各国の最大選手枠に余裕がある場合について与えられる充当枠のこと。

■ **JWTA から JPC へのパラリンピック出場推薦について（補足）**

今般公表された上記要件につきましては、従来のルールに対して「present onsite（現地参加）」と明記することで、WTC への参加の必要性がより強調されています。JWTA としても ITF 公表資料にしっかりと準じ、JPC へのパラリンピック出場推薦をする方針です。パラリンピックが国の代表として戦う大会であるという性格を理解していただくと共に、WTC への参加を重要視していただけますようご注意ください。

選手の皆様には国の代表としてご活躍いただけるよう、協会として万全のサポートをしていく所存です。皆様のご理解ご協力を何卒よろしくお願いたします。

以上